



目次

- 2 特集／次世代につながる住民総働のまちづくり
- 4 行政情報 / 橋梁の名称を募集します ほか
- 5 行政情報 / 高梁市長・市議会議員選挙結果 ほか
- 10 功績をたたえます
- 11 子育て支援情報
- 14 生活支援情報
- 16 情報プラス
- 18 イベント・スポーツ情報
- 19 在宅医療・介護連携推進事業通信
- 20 私の健康
- 21 高梁偉人列伝 - 福西志計子⑤ -
- 22 成羽病院通信・学園だより
- 23 図書館だより
- 24 市民のページ
- 26 高梁知るふぶれ
キラキラきらめく
- 27 まちの出来事
- 28 地紅茶まつり
ちょっとひとこと

表紙

10月8・9・10日の3日間で開催された「第23回平松政次旗学童軟式野球大会」(高上川学童軟式野球連盟主催)に県内外から32チームが集結。～信じ合える仲間がいる～をスローガンに白球を追いかけました。

人口

	人口・世帯数	前月比
総人口	32,064	-31
男性	15,361	-6
女性	16,703	-25
世帯数	14,746	-14

(平成28年9月末現在・外国人含む)

宇治地域まちづくり推進委員会

総務大臣賞を受賞

宇治地域まちづくり推進委員会の取り組みが、全国過疎地域自立活性化優良事例表彰において、総務大臣賞を受賞しました。

人口減少、少子高齢化、小学校の存続の危機、地域力の低下などの課題が深刻化している宇治地域では、他の地域に先駆けて、都市との交流や移住者の受け入れなどのまちづくり活動を積極的に進めてきました。

地域としての活動を地道に継続しながら、よりいっそう地域一丸となって次世代に地域をつなぐと挑戦する姿勢が評価され、このたびの受賞となりました。

問 住もうよ高梁推進課 ☎(21)0282



宇治町を次世代につなぐ
住民総働のまちづくり



活動の背景

▶平成元年の中学校統合以降も、移住定住対策をまちづくり活動の中心に据えて取り組んできましたが、長年続く人口減少によりマンパワーが不足。小学校の存続の危機、地域活力の低下、担い手不足などの課題が深刻化しています。

事例のポイント

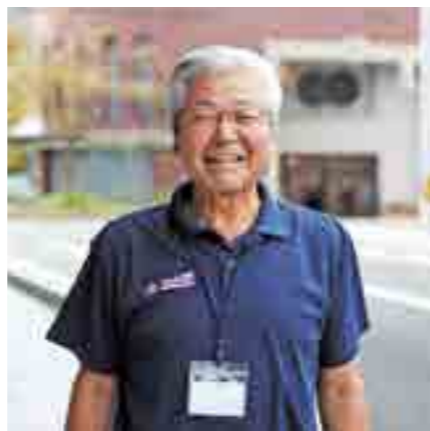


- ▶地域の多様な主体で構成する**宇治地域まちづくり推進委員会が、専門的なNPO法人や地域おこし協力隊、行政と協働**して、地域の持続的運営に取り組んでいます。
- ▶限られたマンパワーのなかで、地域課題に対応するために、運営体制や既存事業の評価・見直しに着手しています。
- ▶**高齢者等の居場所づくり**のために開始した「宇治カフェ」が、各自治体で仕組みづくりが必要となる「新しい介護予防・日常生活総合支援事業」の先進事例となっています。
- ▶農業・農村体験を通じた「都市との交流活動」に積極的・継続的に取り組んでいます。
- ▶**移住サポートに取り組む団体と地域内のUターン者で組織する団体等が連携**した移住者受け入れサポート体制が成果をあげています。
- ▶空き家の掘りおこしから、片づけ、移住相談、引越し手伝い、周辺環境整備、移住後のフォロー等の**地域ぐるみによる移住サポートの取り組み**は、過疎地における空き家を活用した担い手確保の有効なモデルとなっています。
- ▶**住民全員アンケートにより住民意識を把握し、若者や女性の意見も尊重**して今後のまちづくりの方向性を決定しています。地域の取り組みの後押しのため、地域おこし協力隊が活動しており、個々の事業の発展が期待されています。

宇治地域まちづくり推進委員会委員長
東志津夫さんに聞く

宇治町では、平成元年頃から「まちを活性化させて次世代につなぐ」取り組みを行い、平成9年に設立された宇治地域まちづくり推進委員会は、その活動を強く推し進めてきました。

このたびの受賞は、そうした長期にわたる一貫した取り組みに加えて、それに甘んじることなく、新たな地域振興の方策を考え、実行していることが評価されたと考えています。それでも人口減少や少子高齢化は止まらず、宇治は市内で最



も高齢化率の高い地域になっていますが、これからも努力を続け、**みんなが住み続けたいと思う地域をつくる**ために、明日に向けての次の一歩を進めていきたいと考えています。

高梁市市民提案型まちづくり支援事業
中間報告会・市民活動交流会を開催します

日時：10月28日(金)

会場：高梁市文化交流館

(第1部) 平成28年度採択事業 中間報告会

午後1時～午後1時45分

(第2部) 新たな輪をひろげよう！ 市民活動交流会

午後2時～午後2時50分

※興味のある人はぜひご参加ください。